

■計画決定までの歩み

美濃路大垣宿まちづくり策定委員会（平成17年6月～平成19年12月）

専門的・市民など、様々な視点から、景観まちづくりの計画(案)を策定しました。

美濃路大垣宿景観づくりの会(仮称)（平成17年7月～平成19年10月）

住民の視点で、景観まちづくりの計画(案)について、いろいろな意見を委員会に提案しました。

アンケート調査の実施（平成17年9月）

美濃路沿道にお住まいの約400世帯を対象にアンケート調査を行いました。

まちなみウォッチング(平成17年10月)

美濃路大垣宿を歩いて、美濃路大垣宿の景観の良いところや、問題なところを確認しました。

美濃路大垣宿景観まちづくり計画を市長に提言（平成19年1月）

2ヶ年に渡る活動成果として、「美濃路大垣宿景観まちづくり計画(案)」を市長に提言しました。

大垣市都市景観審議会における審議（平成19年2月）

景観に関する市の諮問機関である「大垣市都市景観審議会」で審議をしました。

美濃路大垣宿景観まちづくり計画を市の計画として決定（平成19年3月）

今後、本計画に基づき、美濃路大垣宿の景観まちづくりに取り組んでいきます。



美濃路大垣宿 景観まちづくり

皆さんと一緒に、まちをつくるための

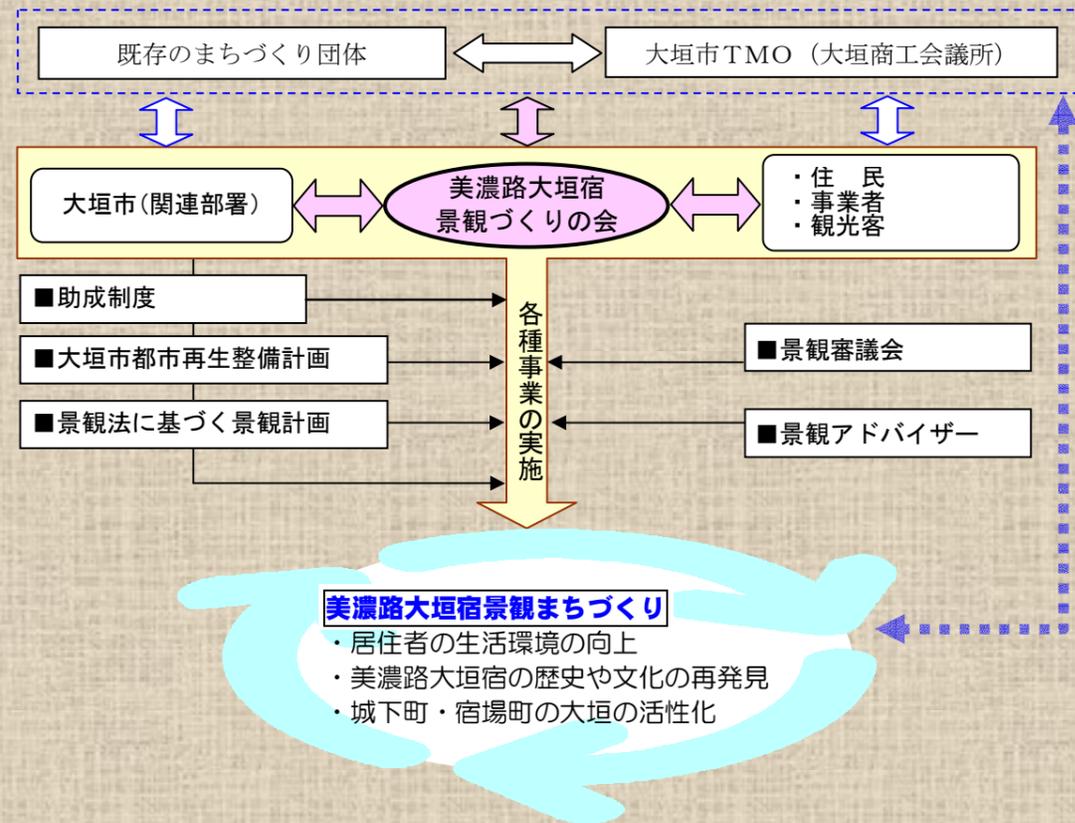
美濃路大垣宿『景観まちづくり計画書』が出来ました！

皆さんからご協力を頂き策定を進めておりました、美濃路大垣宿『景観まちづくり計画書』が、平成19年3月に出来ました。

今後は、皆さんと一緒に美濃路大垣宿の歴史・文化を再発見しながら景観整備を行ない、住み続けたい・住んでみたいまちづくりを協働して取り組んでいきます。



■美濃路大垣宿の景観まちづくりの推進体制

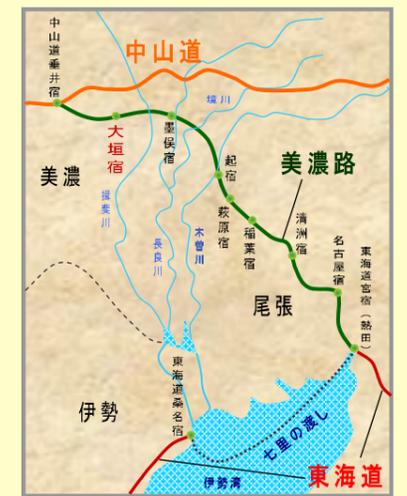


■美濃路大垣宿とは？

美濃路は、徳川家康が関ヶ原の合戦の翌年から手掛けた五街道を補完する重要な脇街道の一つであり、中山道の垂井宿・追分（岐阜県垂井町）で分かれ、東海道の宮宿（名古屋市中熱田区）に至る約14里24町15間（約57km）で、政治上・経済上からも重要な幕府直轄の街道となっていました。

江戸時代には、一般民衆の旅の利用はもとより、朝鮮通信使や琉球王使節、お茶壺道中など、国際的なものから、将軍の上洛をはじめ、幕府へ献上の鮎鮓や象などの珍獣もこの街道を通るなど、多くの事件や物語、伝説、史跡、名勝が沿道に残されています。

美濃路の宿場町は、「宮宿」から「垂井宿」の間に7宿（名古屋宿、清洲宿、稲葉宿、萩原宿、起宿、墨俣宿、大垣宿）があり、大垣宿は、宮宿から数えて7番目となる美濃路最後の宿場でした。



■船町の移り変り

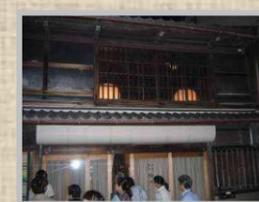


(大正9年)

(昭和15年)

(戦後)

(現在)



街を歩いて、美濃路大垣宿の歴史や文化を見つけよう！



◇ お問い合わせ ◇
 大垣市 都市計画部 都市計画課 景観整備係
 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
 Tel : 0584-81-4111(内線667) Fax : 0584-81-4869
 E-Mail : toshikeikakuka@city.ogaki.lg.jp